

機械 machinery 金属 metal



ひらめ **#閃きで技術革新 #多分野に応用**



県内の志高い経営者・技術者たちが、機械加工や板金、プレス、電気・電子、繊維機械、木工機械などの作業の中で閃いたアイデアをもとに技術を培ってきました。それらは対応領域をさらに広げ、現在ではコンピュータ制御横編機、写真処理機器、自動捺印機、精米機、検査機器など、あらゆる分野の機器に応用されています。

また、生産性の向上とサステナビリティの双方の観点から、材料や人件費のロスを減らす取組を行っており、手作業を自動化させる技術開発と仕組みづくりに尽力しています。

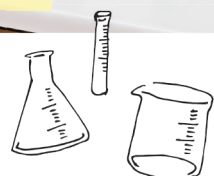


#オンリーワン多し #最先端技術



国内初の合成染料の製造に成功し、日本の合成染料工業の基礎を築いてきた和歌山の化学工業界。小規模ながらもオンリーワンという企業が多く、多品種少量需要型の中間物を主体とした、より専門化した事業を展開。染料、顔料、情報電子機器材料、医薬中間物、農業中間物、繊維関連品、食品素材など、多岐にわたる製品を開発・製造しています。

近年では航空機や宇宙分野など最先端分野においても国内外から高く評価され、持続可能なものづくりのための技術開発を推進しています。



化学 chemistry

ICT information & communication technology



#サテライトオフィス #職場が絶景

和歌山の気候は一年中温暖で過ごしやすく、特に南部は冬でも暖かく、南国ムードに満ちています。そんな都会とは違った最高のロケーションで働くことにより、新しい発想やイノベーションの創出等にも期待できると、首都圏とアクセスの良い白浜町や和歌山市に、大手や新興ベンチャーのICT企業が続々と進出しています。

テレワークの普及により、オンライン業務の環境・態勢がより整備され、これまで都会で行っていた業務を地方で行えるようになったことから、自然豊かで働きやすい環境の和歌山への企業進出が今後も続いていくものと期待しています。

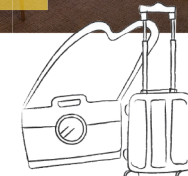


#魅力あり #ダイヤモンドイヤー



大手旅行専門雑誌の宿泊旅行総合満足度で1位となるなど、近年、和歌山観光の魅力が高く評価されています。さらに、今年の弘法大師生誕1250年を皮切りに、世界遺産登録20周年、大阪・関西万博へと続く「ダイヤモンドイヤー」が幕を開けるなど、県内観光産業にとって追い風となるビッグイベントが目白押しです。

和歌山が本来もっている名所・名跡、温泉、絶景などの観光資源を、存分に味わいつくすための宿泊施設は和歌山観光にとって重要なポジションを占めており、これからどんどん需要が伸びていくことが予想されます。



観光 tourism

食品加工
 food processing



シビエを使った加工食品
 作り手の創意工夫から生まれる

#食の宝庫 #発酵食品のルーツ

四季を通して温暖な気候でありながら、寒暖差を生む深い山々、南からは黒潮、北からは瀬戸内海の恵みを受けた豊かな海、四季折々、地域ごとに異なる表情を見せる和歌山県は、まさしく「食の宝庫」です。

生産量日本一を誇る「みかん」や「梅」、「柿」、「山椒」をはじめとする各種果実・野菜類はもちろんのこと、日本でも有数の水揚量・漁獲量を誇る「マグロ」や「タチウオ」、「イセエビ」といった魚介類など、和歌山で獲れた多彩な山の幸・海の幸を食品加工事業者たちの熱意と創意工夫により美味しく生まれ変わらせた、新しい和歌山の“食”を全国に向けて発信しています。



様々な商品に姿を変えていく



新旧の編み機が揃った環境



オリジナル生地は世界へ

#世界有数 #国内シェア約40%

ニット
 knitted products

1909年に5台の丸編機からスタートし、今では世界有数のニット産業の集積地となった和歌山。和歌山のニット生地はパーカーやスウェット、靴下など幅広い製品に使用されており、海外の高級ブランドにも採用されています。近隣の染色や縫製などの関連企業との連携を強化し、ワンストップでオリジナル性の高い生地を作る体制の実現に取り組んだ結果、海外企業との取引においてもタイムロスの少ない対応が可能となっています。

近年は技術の継承だけでなく、従来の受注生産型産地から、オーダーメイドやオリジナル企画生地の提案型産地へのシフトを図りながら、世界に向けた新しいニットの創造につとめています。



伝統の技法による独特の生地

パイル
 pile products



#ジャパネコファー #日本で唯一

旧高野口町を中心に橋本市、かつらぎ町、九度山町に、特殊な織機を有する企業や染色工場、加工場などの関連企業が集積し、日本で唯一の総合パイルファブリック産地として形成されています。パイルファブリックは、アパレル、インテリア、車や新幹線のシート、液晶テレビのパネル用ラビングクロスなどの工業用製品など、用途は多岐にわたります。高野口産地で生産されるパイルは基布にパイル糸(毛)が織り込まれた3次元構造の立体的なものが主流で、国内はもちろん、世界各国の高級メゾンからも依頼を受けています。

またリアルファーの代わりとして、上質なエコファー需要が高まる中、ジャパネコファーの商標を取得し、リアルファーにはできない加工を施した製品開発にも取り組むなど、優れた企画開発力も注目されています。



立体的な3次元構造が特徴



環境に配慮した素材の開発



産業の出発点である棕櫚

#棕櫚ってすごい #アイデア勝負



100円ショップなどにも展開

タワシ・ハウキの原料「棕櫚(しゅろ)」の産地である海南市・野上谷地域を中心に発展を続けてきた家庭用品産業。特にキッチン・バス・トイレタリー・ランドリーといった水廻り用品が充実し、抗菌剤入りのスポンジや、キズをつけずに汚れだけを落とす独自の素材を開発するなど、多数の商品が生まれています。現在はホームセンターや生活雑貨店、100円ショップなどで一般家庭向けにアイデア商品も数多く展開中です。

また、循環型社会への取組として、出発点である棕櫚が持つ「環境に優しい特性」に再着目した素材を開発するなど、人にも地球にも優しい製品を開発し、医療業界や海外への流通も年々増加しています。

家庭用品
 household goods